

令和3年 **8** 月住まいのお手入れ



蚊を入れずに風を入れる 網戸の劣化、交換目安は5年

*網戸があれば蚊の侵入の多くは防げるはずですが、それでも頻繁に入ってくるなら網戸の破れや穴を疑いましょう。

☆蚊対策 ①網戸を点検

*網戸ネットの多くはプラスチック素材。

*紫外線や熱、水で劣化しやすいので、定期的な交換が必要。

*色が褪せていたり、触るとたわんだりするようなら交換時期。

*交換の目安は5年に1回ほど。

☆蚊対策 ②水たまりをなくす

*バケツ、植木鉢の受け皿、空き瓶など、わずかでも水が溜まっていたらボウフラがいると思っていいです。

*雑草は刈り、伸びすぎた庭木は剪定を。

☆蚊対策 ③忌避剤を活用

*そのうえで蚊取り線香や虫よけ剤を使うと忌避効果が高まります。

☆蚊の対策が万全になったら、風を通す工夫を

*室内に風を通すには、風の入り口と出口を作る必要があります。

*大切なのは、風の通り道をイメージすること。

*空気は暖かければ軽いので上昇し、冷たいと重いので下降します。

*一般的な間取りのマンションは、ベランダ側と玄関側の部屋の窓を開けて風を通すのが最も換気口率がよいです。

*戸建ては南北、東西など対面した2か所の窓やドアを開けます。

*エアコンや扇風機、換気扇も併用。

*湿度が高い日はエアコンを使いながら窓を少し開けて換気。

*扇風機は天井付近の熱だまりをかき回したり、湿気を飛ばしたりにも活躍。

蚊を入れずに風を通す換気のコツ3か条

1. 風の入り口と出口を作るのが換気の基本。開口部は対面配置が理想。入り口と出口は離れている方が空気の動きが大きくなる。

2. 風の通りが悪いときは、窓から入れた空気を台所の換気扇で機械的に排出。熱や湿気は扇風機でかき回しながら出す。

3. 敗れた網戸は交換。水たまり、雑草、水がたまったゴミなど蚊が好むものを片付けて、窓を開けても蚊が入ってこない環境を整える。

*越冬準備に入る9月、蚊は最も活動的になります。
(2021年7月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



住まいのお手入れ - 天井

症状 - クロスに隙間がある

☆診断の手順

- *隙間の部分をよく観察します。
 - ・下地の石膏ボードの状態も含めて観察します。

☆対処方法

- 下地ボードのジョイント部、または石膏ボードの割れによる隙間
 - *下地そのものを直すか、取り替える必要があります。
 - *天井下地に原因がある場合は、建物の柱や梁などの構造体が不同沈下などの原因で変形している可能性があります。
 - *自分で直すことは困難。工務店に見てもらいましょう。

- クロスジョイント部分の隙間の場合

- *クロスのはがれにより、隙間が見られることがあります。

☆自分でクロスを貼る場合

- ①クロスのはがれた部分に木工用ボンドを薄く塗り、ヘラなどで天井とクロスの間に入った空気を出し、しわを伸ばします。ボンドはクロスの裏側か天井側のいずれかに塗ります。
- ②ローラーで圧着すると、ノリが均等に広がりきれいに仕上がります。
- ③固く絞った雑巾ではみ出したボンドをふき取ります。

(参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」)